

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2単位 現代日本	日本の社会	狩野 俊郎	2年次	春

授業のキーワード	現在の環境問題の理解と ECO LIFE デザインづくり
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	環境問題は様々な事象によって構成されている。授業では、それらの事象の問題点を具体的に理解し、次に、現代社会を構成する個人、会社、地域社会、国等が環境問題とどう取り組んでいるかを理解する。更に、環境に関する課題の克服、現代社会の優位性の確立につながることから、日本社会を構成する私たちが環境問題とどう取り組んだらよいかの道筋を示します。
履修のアドバイス・ 前提科目等	環境問題に関する基本的知識の修得が可能であり、最終的に環境社会検定試験も視野に入れていきます。

## 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	講義の進め方 とねらい 環境問題とは	主な環境問題 持続可能な社会をつくる 生活と身近な環境テーマについて	第9講	環境問題への 取り組み III	企業の取り組み (CSR・ISO・ 環境報告書等・環境会計・環境 教育等)
第2講	地球環境問題 I	持続可能な社会への取り組み (大気・ 海・川・土壌・森林・生態系等)	第10講	環境問題への 取り組み IV	わが国の地球温暖化対策 (グリ ーン購入・LCA・環境ラベル・ 製品の環境配慮設計等)
第3講	地球環境問題 II	持続可能な社会への取り組み (公害・大 気汚染・水質汚濁・土壌汚染等)	第11講	環境と暮ら し I	安全・安心の食ルール 環境配慮の住まい方 環境重視の町づくり
第4講	地球環境問題 III	持続可能な社会への取り組み (ヒートア イランド現象・二酸化炭素・フロンとオ ゾン層等)	第12講	環境と暮ら し II	消費者と企業の関係変化 生産者・企業の責任 市民・企業・行政の連携・協力 自然環境の保護
第5講	地球環境問題 と私たちの役 割	自然環境保全に向けた私たちの取り組 むべき課題 環境問題への世界の取り組み	第13講	環境と暮ら し III	環境との共生 里山と生活 賢い ECO ライフ
第6講	地震と環境問 題	東日本大震災と環境問題	第14講	企業と環境	企業の環境への取り組み (工場 見学)
第7講	環境問題への 取り組み I	国の対策・対応 (法律の制定等)	第15講	定期試験	
第8講	環境問題への 取り組み II	県・市町村の対策・対応 (条例の制定等)	評価方法		出席および定期試験の結果等により判定する。
備考 (関連する資格・試験等)	①幅広い環境問題を私たちの生活との関連性に着目して授業を進めます。 ②環境問題の基本的知識が修得できます。 ③関連する試験として環境社会検定試験 (eco 検定) があります。 (参考:例えば、県内一部上場会社S株式会社では全社員がeco 検定を受けているなど、eco 検定に出題される問題程度の環境知識は社会人にとって必須となりつつあります。)				
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
東京商工会議所編『eco 検定公式テキスト改訂3版』 環境省『平成23年版 図で見る環境白書』			環境省『平成23年版 環境白書』 明日香壽川『地球温暖化』岩波ブックレット 鷺谷いづみ『<生物多様性>入門』岩波ブックレット 森住用弘『環境とつきあう50話』岩波ジュニア新書		